

## 令和3年度「電波の日・情報通信月間」表彰を実施

－電波及び情報通信の発展に貢献された個人及び団体を表彰－

近畿総合通信局（局長 高野 潔（こうの きよし））は、近畿情報通信協議会（会長 角 英夫（かど ひでお）日本放送協会 専務理事 大阪拠点放送局長）と、令和3年度「電波の日・情報通信月間」に伴い、電波及び情報通信分野の発展に貢献した個人及び団体を表彰します。

### <表彰案件>

「電波の日」近畿総合通信局長表彰（別紙1）  
「情報通信月間」近畿総合通信局長表彰（別紙2）  
近畿情報通信協議会会長表彰（別紙3）

### <電波の日とは>

昭和25年（1950年）6月1日に電波法、放送法及び電波監理委員会設置法が施行され、それまで政府に限られていた電波の利用が広く国民に開放されました。これを記念して6月1日が「電波の日」に定められ、今年で71回目を迎えます。

### <情報通信月間とは>

昭和60年（1985年）の情報通信の制度改革を契機に情報通信の普及・振興を図ることを目的として設けられました。毎年5月15日から6月15日までの期間中に各管内で情報通信に関する様々な行事を開催しており、今年で37回目を迎えます。

### <近畿情報通信協議会とは>

平成15年（2003年）、情報通信の健全な普及発展と情報通信の利用による国民生活の向上に寄与するとともに、会員相互間の緊密な連絡と親睦を図ることを目的に設立されました。地方自治体、電気通信事業者、放送事業者、有識者など196会員で構成されています。

連絡先：総務部総務課  
（担当：橘、岩田）  
電話：06-6942-8510

「電波の日」近畿総合通信局長表彰

個人

北村 英夫 様

(さくらFM株式会社代表取締役会長兼社長)

地域の情報発信拠点としてコミュニティ放送局の受信環境向上に尽力するとともに、日本コミュニティ放送協会近畿地区協議会会長として近畿管内の事業者の発展、連携強化に多大な貢献をされました。

団体

一般社団法人全国船舶無線協会近畿支部 様

(代表:支部長 田岡 一樹 様)

会員への周知啓発及び申請支援により電子申請率を大幅に向上させるとともに、登録点検報告書の電子申請化も全国に先駆けて取り組むなど、無線局申請手続の電子化の普及促進に多大な貢献をされました。

独立行政法人国立高等専門学校機構舞鶴工業高等専門学校 様

(代表:校長 内海 康雄 様)

高専ワイヤレス IoT コンテストに第1回から4年連続で地域課題解決につながる独創的なアイデアを提案され地域に密着した技術実証に取り組むなど、地域の電波利用の推進に多大な貢献をされました。

「情報通信月間」近畿総合通信局長表彰

個人

米田 宗義 様

(一般社団法人 ITC-Labo. 代表理事)

長年にわたり総務省地域情報化アドバイザー及びテレワークマネージャーとしてICT利活用推進のための活動に尽力し、特にコロナ禍における地域のテレワーク導入支援に多大な貢献をされました。

竹内 義博 様

(所属団体・ぱそこんる一む123)

「インターネットの安心・安全に関する動画フェスタ」の活動に長年取り組まれるとともに、e-ネットキャラバンの講師も務められるなど青少年のインターネット・リテラシーの向上に多大な貢献をされました。

団体

一般財団法人関西情報センター 様

(代表:会長 森下 俊三 様)

サイバーセキュリティ分野の啓発や関西サイバーセキュリティネットワークの設計に尽力するなど、関西地域のサイバーセキュリティ推進に多大な貢献をされました。

こまどりケーブル株式会社 様

(代表:代表取締役社長 桑原 克仁 様)

奈良県東部・南部地域における光ファイバー整備に尽力され、山間部、過疎地での超高速ブロードバンドによる通信環境実現に向け多大な貢献をされました。

舞鶴市 様

(代表:市長 多々見 良三 様)

総務省「革新的ビッグデータ処理技術導入推進事業」の活用や様々な企業との連携により AI など ICT を積極的に活用した舞鶴版 Society5.0 を推進し、地域の情報化に多大な貢献をされました。

株式会社池田泉州銀行 様

(代表:代表取締役頭取兼CEO 鶴川 淳 様)

ミライノピッチへの協賛や長年にわたる独自の助成金事業を行うなど関西でのイノベーション創出に多大な貢献をされました。

近畿情報通信協議会会長表彰

個人

井内 善臣 様

(兵庫県立大学名誉教授／兵庫ニューメディア推進協議会前副代表幹事)

長年にわたり兵庫ニューメディア推進協議会の運営に携わるとともに、地元産業の情報化により阪神・淡路大震災からの復興を支援するなど、産学官の連携を促進し地域の情報化の実現に多大な貢献をされました。

小西 康元 様

(讀賣テレビ放送株式会社 技術局電波管理部副主務)

新たな発想でライフサイクルコストを考慮した環境対応性能を追求した放送機器の空調システムを考案してコストと二酸化炭素排出量の大幅な削減を達成し、放送事業の発展に多大な貢献をされました。

宮本 伸一 様

(国立大学法人和歌山大学システム工学部教授)

人工雑音などに関する電波環境や自営系無線システムの先駆的な研究開発を行うとともに、関西地域での無線通信並びに放送技術分野の技術者の育成などに多大な貢献をされました。

山本 誠次郎 様

(兵庫ニューメディア推進協議会前代表幹事)

長年にわたり兵庫ニューメディア推進協議会の運営に携わるとともに、兵庫県内外の自治体の情報計画策定などに有識者委員として参画され、地域の情報化の推進に多大な貢献をされました。